



Photo_橋梁が流され、道が閉ざされた町道小松線

PICK
UP

鬼北町を襲った西日本豪雨災害

7月6日から8日にかけて、西日本を襲った「平成30年7月豪雨」。鬼北町ではこの記録的な豪雨により、至る所で土砂崩れ、川の氾濫や浸水被害などが相次ぎ、私たちのふるさと心に甚大な爪痕を残しました。5日から8日にかけての近永地区の総雨量は571ミリリットルを記録しました。

今回の豪雨災害において被災された方々に 対しまして、心よりお見舞い申し上げます。 今回の災害は、町内の山間部を中心に被害が大きく、住宅の浸水、生活道路の寸断や河川の決壊、土砂崩れ、田畠の崩壊など、これまでに経験したことのない災害規模となりました。

災害発生以降、まず、人命救助を第一に掲げ、避難所運営、被害状況確認、ライフライン確保、重大被害地域直接支援を実施していました。現在も、詳細な被害状況を把握すべく、調査継続をしております。

今後は、国・県そして関係機関と連携し、災害救助法の適用事務や激甚災害対策、さらに、新規単独支援措置も含めて速やかに取り組んでまいります。

少しでも早く、安心・安全な生活に戻れるよう努力してまいりますので、皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

鬼北町長　兵頭誠亀